

**雑談が下手な人は、世間の常識で話す。**

**雑談が上手な人は、自分の考えで話す。**

その話は、誰の意見なのか。

それが問題です。

意見の出どころによって、話の印象が変わります。

雑談が下手な人は、世間の常識で話します。

「常識で考えると、こうだね」

「世間的には、こうだと思うよ」

もちろん時には世間の常識で話すのもいいでしょう。

世間の一般認識を伝えることで、自分の立ち位置が把握できます。

自分の考えの誤りや偏りに気づかされることもあるでしょう。

しかし、いくら世間の常識が大切とはいえ、程度があります。

話す内容が世間の常識ばかりになるのは好ましくありません。

世間の常識は、形式張ったり堅苦しくなったりする傾向があります。

全体論や一般論のような話し方なので、抽象的にもなりがちです。

世間の常識で話すと、説教のようにもなりやすい。

「みんなはこうしているよ。あなただけ違っていますよ」と、違いを責める雰囲気になりがちです。

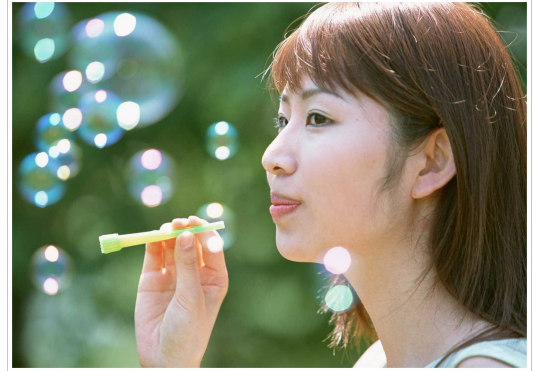
なにより世間の常識で話すと、無責任な印象を与える可能性があります。

「これは私の考えではなく、世間の考え。何かあっても、私は責任を負えないよ」

話の責任を曖昧にする印象があるため、話の意味はわかっても、相手の心に響かないのです。

雑談が上手な人は、世間の常識で話すのは必要最小限に抑えます。

その代わりに、まず自分が考えたことを、自分の言葉で話します。



「私は、こう考える」

「個人的に、こう思う」

いったん世間の常識は無視して、その人がどう思っているかが大切です。

自分の考えで話すと、熱意と意欲を持って具体的に話せるでしょう。

言葉・表情・態度にも力が入り、話し方が力強くなります。

なにより自分の考えだと表明することで、責任が感じられます。

雑談であれ、責任の所在が大切です。

責任と覚悟を伴った発言だからこそ、情熱と本気が伝わり、相手の心に響きます。

雑談が上手な人と下手な人の違い その30

**世間の常識ではなく、自分の考えで話す。**